

都市再生整備計画 事後評価シート
中心市街地区

平成26年12月

北海道豊富町

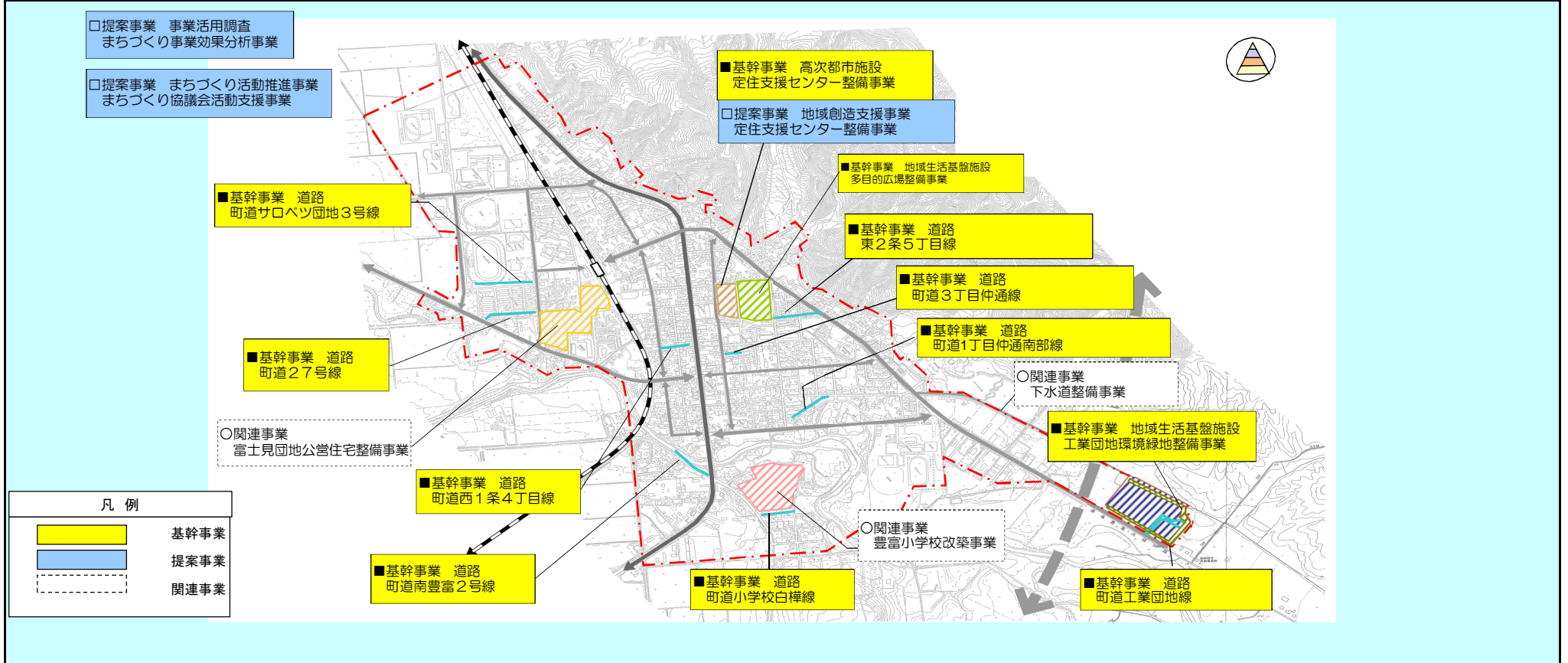
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	豊富町		地区名	中心市街地区			面積	239ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	1,302	国費率	40%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(町道西1条4丁目線、町道東4条線、町道3丁目仲通線、町道27号線、町道東2条5丁目線、町道サロベツ団地3号線、町道南豊富2号線、町道工業団地線(仮称)、町道小学校白樺線)、地域生活基盤施設(工業団地環境緑地、多目的広場)、高次都市施設(定住支援センター)										
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(定住支援センター(浴場))、事業活用調査(まちづくり事業効果分析事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会活動支援事業)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(町道東4条線)			事業実施に伴う関係地権者との協議調整が困難であると判断された為。			数値目標への影響はない。				
			提案事業											
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	変更なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	指標1	生活道路の満足度	%	60	H21	63	H26	モニタリング	評価値	67	○	あり なし	アクセス性の向上等、円滑な交通の確保により、満足度の向上につながった。	
	指標2	定住支援センターの整備	%	100	H21	110	H26			153	○	あり なし	既存施設利用者意見等を参考とした事により利便性が向上し、利用者数の増加に繋がった。	
	指標3	工業団地への立地企業数	社	0	H21	2	H26			1	△	あり なし	1企業が立地する効果があった。	H27年度内
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1	なし												
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	定住支援センター(ふらっと☆きた)は、平成26年度北海道赤レンガ建築奨励賞を受賞													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた											
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
住民参加プロセス		住民ワークショップ、シンポジウム 豊富町まちづくり協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
持続的なまちづくり体制の構築		豊富町定住支援センター運営協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2-2 地区の概要

中心市街地区(北海道豊富町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
基本理念:自然に生まれ育った人に優しい協働の生活拠点づくり ①基本目標1:自然と調和し、住み続けることができる快適な住環境を形成する。 ②基本目標2:地域の資源を活かし雇用機会を増やすために良質で低廉な企業誘致環境を形成する。 ③基本目標3:安全・安心・元気な暮らしを支える定住支援サービスの充実を図る。	生活道路の満足度	単位:%	60 H21	63 H26	67 H26
	定住支援センターの整備	単位:%	100 H21	110 H26	153 H26
	工業団地への企業立地数	単位:社	0 H21	2 H26	1 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地は2宅地を整備しており、残り1企業の誘致が課題である。 定住支援センターに移転した機能があった施設の跡地利用について検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、残っているネットワーク不良道路の整備を行う。 公営住宅富士見団地はA地区に引き続きB地区の建替事業を行う。 住生活基本計画を見直し、新たな分譲宅地の供給について再検討を行う。 鉄道東西地区の連絡機能の強化について、JRと協議を行いつつ、連絡通路の整備等を検討する。 工業団地のPRIに努め、残る1企業の早期誘致を図る。 公共施設総合管理計画を策定し、今後の公共施設の更新、維持管理等の考え方を整理し、計画に基づき老朽施設の更新、統廃合等を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道西1条4丁目線	30.0	L=120m W=5.5m	22.9	L=120m W=5.5m	事業精査による事業費の減、延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道1丁目仲通南部線	—	なし	38.5	L=202m W=7.5m	平成23年度に計画変更して追加	目標に大きな変動は発生しないため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道3丁目仲通線	8.0	L=40m W=4.0m	9.7	L=44m W=4.0m	事業実施による事業費・延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道27号線	30.0	L=170m W=5.5m	28.7	L=184m W=5.5m	事業実施による事業費・延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道東2条5丁目線	30.0	L=155m W=8.0m	33.8	L=175m W=8.0m	事業実施による事業費・延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道サロベツ団地3号線	50.0	L=250m W=8.5m	47.3	L=252m W=8.5m	事業実施による事業費・延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道南豊富2号線	80.0	L=320m W=6.5m	32.4	L=170m W=5.5m	事業精査による事業費の減、延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道工業団地線	130.0	L=276m W=10.5m	44.1	L=185m W=10.5m	事業精査による事業費の減、延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道小学校白樺線	48.0	L=240m W=6.0m	24.7	L=124m W=6.0m	事業精査による事業費の減、延長・幅員の確定	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
道路	町道東4条線	37.0	L=168m W=8.5m	—	—	事業実施に伴う関係地権者との協議調整が困難であると判断された為。	目標に大きな変動は発生しないため、目標及び指標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	工業団地環境緑地	12.0	A=7,300㎡	23.6	A=7,966㎡	事業実施内容の確定による事業量・事業費の増	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	多目的広場	52.0	A=20,000㎡	12.6	A=10,974㎡	事業実施内容の確定による事業量・事業費の減	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	
高次都市施設	定住支援センター	447.0	A=1,400㎡	736.8	A=2,007.48㎡	事業実施内容の確定による事業量・事業費の増	実施内容の精査に伴う変更のみであるため、目標及び指標は据え置く。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	定住支援センター(保健センター等)	140.0	A=400㎡	238.5	A=633.99㎡	事業実施内容の確定による事業 量・事業費の増	一部実施内容の取り止め・追加はあるが、大幅な整備内容の変更 はないため、目標及び指標は据え置く。	●	
事業活用調査	まちづくり事業効果分析事業	5.0	—	1.0	—	事業内容精査による事業の減	目標及び指標への影響はなし。	●	
まちづくり 活動推進事業	まちづくり協議会活動支援事業	5.0	—	3.0	一式	事業内容精査による事業の減	目標及び指標への影響はなし。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
富士見団地公営住宅整備事業		中心市街地区	437.0	437.0	平成22年度～平成25年度	平成22年度～平成27年度	事業の一部完成及び計画決定し、一定の住環境整備が 図られた。		
豊富小学校改築事業		中心市街地区	1,100.0	1,100.0	平成22年度～平成25年度	平成22年度～平成30年度	事業計画の策定及び一部工 事の実施により教育環境の 整備が図られる見込み。		
高次都市施設		定住支援センター	186.0	—	平成23年度～平成24年度	—	事業見直しにより、提案事業 で実施		
下水道整備事業		豊富処理区	—	325.0	—	平成22年度～平成26年度	事業が完成し、生活環境等 の向上が図られた。		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	生活道路の満足度	%	平成21年11月に市街地区住民200名を対象とした5段階評価のアンケート調査の集計結果により設定。	-	H11	60	H21	63	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	67	事後評価	○		
指標2	定住支援センターの整備	%	平成20年度末現在の機能統合予定施設の年間利用者数を各施設管理者から聞き取りし設定。	-	H11	100	H21	110	H26	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	153	事後評価	○		
指標3	工業団地への企業立地数	社	公表時点で施設が無く、従前値は0として設定。	0	H11	0	H21	2	H26	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	1	事後評価	△		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	生活道路の利便性の向上及び快適な道路交通の確保が図られたため満足度の向上につながった。	
指標2	施設整備により多世代の交流が生まれるとともに、安心して暮らすことのできるサービスが提供可能となった。	定住支援センター(ふらっと☆きた)は、平成26年度北海道赤レンガ建築奨励賞を受賞
指標3	1社は企業立地しており、雇用環境の確保及び地域経済への波及効果が発生していると考えられるが、残る1企業について、立地意向はあるが具体的な計画が纏まっておらず、1年以内の企業立地は困難であると判断し見込みとした。	
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価		
その他の 数値指標1	—						モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2	—						モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3	—						モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・定住支援センター(ふらっと☆きた)は、平成26年度北海道赤レンガ建築奨励賞を受賞

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
住民ワークショップ、シンポジウム	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 住民要望等を聴取し計画に反映させた。 【実施頻度】H22年度：シンポジウム1回、住民WS 3回 H23年度：住民WS 2回 【実施時期】随時 【実施結果】事業実施内容への意見反映が図られた。	・住民意見を取り入れるようワークショップ等を開催し利用促進を図る。
町民や民間団体が参画する「まちづくり協議会」を創設	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】H22年度～H24年度 年3回、H25年度 1回 【実施時期】随時 【実施結果】事業実施内容への意見反映が図られた。	・利用促進を図るため「豊富町定住支援センター運営協議会」で活用手法等を検討していく。

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
定住支援センター運営協議会	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 運営側が把握している課題や利用者からの要望を調整し、利用促進へつなげていく。	定住支援センター運営協議会	・より一層の利用促進を図るため、指定管理者制度への移行を検討していく。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価委員会	学識者(瀬戸口剛 北海道大学大学院 教授)・民間団体・庁内関係課(総務課、建設課)	第1回 平成26年12月4日	建設課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2					
指標名		生活道路の満足度		定住支援センターの整備					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(町道西1条4丁目線)	◎	住環境の向上及び公共施設へのアクセス性の向上、災害時発生時においても円滑な交通の確保に繋がるものであり、満足度の向上につながった。	◎	住民や機能統合予定施設利用者の意見等を参考にした施設整備と点在していた施設を集約・複合化したことで、より利便性が向上し、目標値よりも大幅な利用者数の増加が図られた。				
	道路(町道東4条線)	◎		◎					
	道路(町道3丁目仲通線)	◎		◎					
	道路(町道27号線)	◎		◎					
	道路(町道東2条5丁目線)	◎		◎					
	道路(町道サロベツ団地3号線)	◎		◎					
	道路(町道南豊富2号線)	◎		◎					
	道路(町道工業団地線)	◎		◎					
	道路(町道小学校白樺線)	◎		◎					
	道路(町道1丁目仲通南部線)	◎		◎					
	地域生活基盤施設(工業団地環境緑地)	—		◎					
	地域生活基盤施設(多目的広場)	—		◎					
	高次都市施設(定住支援センター)	—		◎					
	提案事業	地域創造支援事業(定住支援センター)		○		◎			
事業活用調査(まちづくり事業効果分析事業)		—	—						
まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会活動支援事業)		○	◎						
関連事業	富士見団地公営住宅整備事業	○	—						
	豊富小学校改築事業	○	—						
	下水道整備事業	○	—						

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	住民意見を取り入れるようワークショップ等を開催し利用促進を図る。	より一層の利用促進を図るため、指定管理者への移行を検討していく。		
-------	----------------------------------	----------------------------------	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3											
指標名		工業団地の立地企業数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路(町道西1条4丁目線)	—	立地企業数2企業を目標とし、1企業が立地し、効果があつたが残る1企業について立地計画の打診があつたものの当該企業の立地計画見直しにより未達成となった。	Ⅲ									
	道路(町道東4条線)	—											
	道路(町道3丁目仲通線)	—											
	道路(町道27号線)	—											
	道路(町道東2条5丁目線)	—											
	道路(町道サロベツ団地3号線)	—											
	道路(町道南豊富2号線)	—											
	道路(町道工業団地線)	△											
	道路(町道小学校白樺線)	—											
	道路(町道1丁目仲通南部線)	—											
	地域生活基盤施設(工業団地環境緑地)	△											
	地域生活基盤施設(多目的広場)	—											
高次都市施設(定住支援センター)	—												
提案事業	地域創造支援事業(定住支援センター)	—											
	事業活用調査(まちづくり事業効果分析事業)	—											
	まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会活動支援事業)	—											
関連事業	富士見団地公営住宅整備事業	—											
	豊富小学校改築事業	—											
	下水道整備事業	△											

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	立地希望企業における計画が纏まり次第、契約締結することとして協議しており、数年以内に目標が達成される見込みである。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価委員会	学識者(瀬戸口剛 北海道大学大学院 教授)・民間団体・庁内関係課(総務課、建設課)	第1回 平成26年12月4日	建設課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
住み続けることができる定住 環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の整備により、ネットワークの不良や耐震・防災性の低い住宅は相当数が改善された。 富士見団地A地区公営住宅の建替・改善事業により、居住環境の向上が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク不良の道路が一部残されている。 サロベツ住宅のような地域特性を活かした住環境づくりはまだ行われていない。 鉄道東西地区の連絡機能の強化が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地は2宅地を整備しており、残り1企業の誘致が課題である。 定住支援センターに移転した機能があった施設の跡地利用について検討する必要がある。
地域特性を生かした企業誘致 環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地の整備により1企業が立地し、就業機会の増加の効果があつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地は2宅地を整備しており、残り1企業について未誘致となっている。 	
定住を支援する公共施設の 整備	<ul style="list-style-type: none"> 定住支援センターの整備により、住民の定住を支援する保健・福祉・いきがい等のサービス拠点が整備された。 安全で地域に開かれた学校教育施設として、豊富小学校の改築に着手し、現在、工事中である。 	<ul style="list-style-type: none"> 役場庁舎をはじめ、老朽化した公共施設は、市街地内にまだ多く残っている。 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	住み続けることができる定住環境の整備	・引き続き、残っているネットワーク不良道路の整備を行う。 ・公営住宅富士見団地はA地区に引き続きB地区の建替事業を行う。	・町道等整備事業 ・富士見団地B地区公営住宅整備事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	住み続けることができる定住環境の整備	・住生活基本計画を見直し、新たな分譲宅地の供給について再検討を行う。 ・鉄道東西地区の連絡機能の強化について、JRと協議を行いつつ、連絡通路の整備等を検討する	・サロベツ住宅地整備事業 ・東西連絡通路整備事業 ・駅前広場等整備事業
	地域特性を生かした企業誘致環境の整備	・工業団地のPRIに努め、残る1企業の早期誘致を図る。	
	定住を支援する公共施設の整備	・公共施設総合管理計画を策定し、今後の公共施設の更新、維持管理等の考え方を整理し、計画に基づき老朽施設の更新、統廃合等を進める。	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	生活道路の満足度	%	60	H21	63	H26	確定 ●	67	○	あり			
							見込み			なし			
指標2	定住支援センターの整備	%	100	H21	110	H26	確定 ●	153	○	あり			
							見込み			なし			
指標3	工業団地への企業立地数	社	0	H21	2	H26	確定 ●	1	△	あり ●	H27年度内	建設課が企業立地状況を確認する	
							見込み			なし			
指標4				H		H	確定			あり			
							見込み			なし			
指標5				H		H	確定			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標1				H			確定						
							見込み						
その他の数値指標2				H			確定						
							見込み						
その他の数値指標3				H			確定						
							見込み						



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点	・一部、合意形成のプロセスへの不十分な対応があったため、数値目標を達成できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・アンケートを実施したことにより、交付期間に実施した事業の効果を確認することができた。	
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・まちづくり協議会への町民委員の参加があったため、交付期間に実施した事業への理解が進んだと考えられる。	
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	採用した指標の一つである施設の利用者数は、毎年、施設管理者が集計しているため、評価を容易に実施することができ、かつ、交付期間途中に共用した事業の効果を確認することができた。	
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに公開	平成26年11月12日～12月3日	平成26年11月12日～12月3日	担当課への電話、 FAX、電子メール	建設課土木係
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	寄せられた意見はなし				
-------	------------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	瀬戸口剛 北海道大学大学院 教授	平成26年12月4日	建設課	既存組織を活用	既存組織(まちづくり協議会)から一部の委員を改めて委員に委嘱
その他の委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり住民会議委員 ・花2ネットワーク会長(欠席) ・総務課長 ・建設課長 				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地について、1者の誘致が未達成であるが、民間側からも来年度に移転の意志があるようだとの意見があった。 ・定量的に表現できない定性的な効果発現状況として、定住支援センターの北海道赤レンガ建築奨励賞受賞を記載すべきとの意見があった。
	実施過程の評価	・定住支援センター運営協議会の今後の対応方針について、受け皿づくりの検討ではなく、指定管理者への移行とはっきり書くべきとの意見があったため、文言を修正する。
	効果発現要因の整理	・「指標2 定住支援センターの整備」の今後の活用について、受け皿づくりの検討ではなく、指定管理者への移行とはっきり書くべきとの意見があったため、文言を修正する。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、町民に公表されたことが確認された。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の再配置については、既に作業を進めている部分もあり、まずはそこを整理し、その先に庁舎等の問題を検討すべきとの意見があった。 ・来年度以降、公共施設総合管理計画の策定、住生活基本計画の見直し等を踏まえて、次期計画の必要性を検討することについて、了解が得られた。
	フォローアップ	・定住支援センターの利用状況は、定期的に調査をすべきとの意見があった。
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

ちゅうしんし が い
中心市街地区
(第4回変更)

ほっかいどう とよとみちよう
北海道 豊富町

平成26年12月1日

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○整備方針1(自然と調和し、住み続けることができる快適な住環境を形成する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全、安心かつ快適に移動できるように、町道等の整備を図る。 地域特性を活かした居住環境づくりを進めるために、公営住宅の建替、サロベツ住宅の建設等を図る。 住民参加による協働のまちづくりを推進するために、まちづくり協議会の活動を支援する。 まちづくり交付金等の交付期間終了後の効果の持続や次のまちづくりへの展開を図るために、まちづくり事業の効果を調査分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町道等整備事業(基幹事業) まちづくり事業効果分析事業(提案事業) まちづくり協議会活動支援事業(提案事業) 富士見団地公営住宅整備事業(関連事業)
<p>○整備方針2(安全・安心・元気な暮らしを支える定住支援サービスの充実を充実を図る)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民サービスに係わる施設の充実を進め、住民の定住を支援する保健・福祉・生きがい等のサービスを提供するセンターづくりを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 定住支援センター整備事業(基幹・提案・関連事業) 多目的広場整備事業(基幹事業) 豊富小学校整備事業(関連事業)
<p>○整備方針3(地域の資源を活かし雇用機会を増やすために良質で低廉な企業誘致環境を生成する)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い高規格道路の豊富インターチェンジに隣接する位置に、企業活動の受け皿づくりや雇用機会を創出するために、田園環境と調和した基盤施設の整った工業団地の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地道路整備事業(基幹事業) 工業団地環境緑地整備事業(基幹事業) 下水道整備事業(関連事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画についての住民等との間でとる合意形成方法の内容 <ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画は、町のホームページにおいて情報公開を行い、町民への周知と合意形成を図ってきており、今後も継続的に情報公開を行っていく。 ○交付期間中の計画の管理に関する内容(モニタリングの実施予定、内容等) <ul style="list-style-type: none"> 交付期間中の円滑な事業の推進と目標の達成に向け、庁内に横断的な調整部会を設置し、事業計画の管理を実施するとともに、新たに町民や民間団体が参画するまちづくり協議会を創設し、事業の協議・調整や進捗状況の検証等を実施する。 ○事後評価によるまちづくり交付金の成果と今後のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> まちづくり交付金事業の交付期間終了後に事業評価を行い、事業終了後も交付金の効果の持続を図るために、今後のまちづくりの方策(必要に応じて改善策も含め)を検討・実施する。 	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	1,297	交付限度額	519	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路		町道西1条4丁目線	豊富町	直	延長120m	H23	H24	H23	H24	23	23	23	23	
道路		町道1丁目仲通南部線	豊富町	直	延長202m	H24	H25	H24	H25	38	38	38	38	
道路		町道3丁目仲通線	豊富町	直	延長44m	H24	H25	H24	H25	10	10	10	10	
道路		町道27号線	豊富町	直	延長184m	H22	H22	H22	H22	29	29	29	29	
道路		町道東2条5丁目線	豊富町	直	延長175m	H23	H24	H23	H24	34	34	34	34	
道路		町道サロベツ団地3号線	豊富町	直	延長252m	H22	H22	H22	H22	47	47	47	47	
道路		町道南豊富2号線	豊富町	直	延長170m	H25	H28	H25	H26	31	31	31	31	
道路		町道工業団地線	豊富町	直	延長185m	H23	H23	H23	H23	44	44	44	44	
道路		町道小学校白樺線	豊富町	直	延長124m	H25	H28	H25	H26	27	27	27	27	
道路(都市再構築戦略事業)														
公園														
公園(都市再構築戦略事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		工業団地環境緑地	豊富町	直	面積7,966㎡	H23	H23	H23	H23	24	24	24	24	
地域生活基盤施設		多目的広場	豊富町	直	面積10,974㎡	H23	H25	H23	H25	12	12	12	12	
高質空間形成施設														
高次都市施設		定住支援センター	豊富町	直	面積2,007.48㎡	H22	H25	H23	H25	737	737	737	737	
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
市街地再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,056	1,056	1,056	0	1,056

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業		定住支援センター(保健センター等)	豊富町	直	面積633.99㎡	H22	H25	H23	H25	238	238	238	238	
事業活用調査		まちづくり事業効果分析事業	中心市街地区	豊富町	直	-	H26	H26	H26	1	1	1	1	
まちづくり活動推進事業		まちづくり協議会活動支援事業	中心市街地区	豊富町	直	-	H22	H26	H22	2	2	2	2	
合計										241	241	241	0	241

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
富士見団地公営住宅整備事業	中心市街地区	豊富町	国土交通省			○			H22	H27	437
豊富小学校改築事業	中心市街地区	豊富町	文部科学省			○			H22	H28	1,100
下水道整備事業	豊富処理区	豊富町	国土交通省			○			H22	H25	325
合計											1,862

合計(A+B) 1,297